

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援室 ハンモック		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	42 (回答者数)	32
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	しょうがいや医療的ケアがあるこどもが、小集団の集団生活を送ることで、社会性や協調性を身につけることができます。	保育士・児童指導員を中心にこどもの発達や特性について理解し個別支援計画を作成し、目標達成のための活動を設定しております。各職員が専門性を活かしながら支援を行っています。	こどものニーズに応じて連携を図り、支援を提供していきます。
2	理学療法士(PT)・言語療法士(ST)を配置していることで、こどもの特性等に応じたより専門性のある支援が受けられます。	PT・STによる専門的視点からの評価やアセスメントを職員へ伝達し、こどもの特性を理解し発達支援に取り組んでいます。	こどもの特性から身体的側面や心理的側面を評価し、情報共有しながら発達支援を提供していきます。
3	看護師を多く配置していることで、適切な医療的ケアを提供しながら発達支援を行うことができます。	日々の活動の中で、できる限りこどもの活動状況に合わせて適切な医療的ケアを行います。	安全な医療的ケアの提供のために、勉強会等で職員全体での医療的ケアに関する知識向上に努めます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への非常時等の対応についてのお知らせが不足している。	防災への取り組みについては契約時の説明に留まり、周知が不足しています。	毎月行っている避難訓練(火災・地震)の様子は、連絡帳でお知らせします。また、引き取り訓練や非常時のWEB171での訓練実施・実施結果等については、おたよりやアプリでお知らせします。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない。	家族支援プログラムの専門的な知識や技術が不足している点があり、研修等の機会がありません。	職員が家族支援プログラムの理解を深めていきます。ご家族からご相談やご要望を受けた際は、個別に対応してまいります。
3	保護者が施設内や通所中のこどもの様子をみることができる機会が少ない。また、送迎サービスを利用することも多く、保護者と日々の情報共有の時間を十分に取ることができない。	施設内やお子さまの様子などをみていただける機会が契約時や面談時に留まり、見学等の機会が多くはありません。送迎の際は車ごとに複数のお子さまが乗車し、ご家族と十分なコミュニケーションがとりにくい状況です。	見学やご相談には随時対応いたします。また、保育参観や行事でお子さまの様子や施設内の設備をみていただける機会を継続していきます。また、日々の様子は連絡帳等でお知らせします。